

中国全土の観客を感動と涙の渦に巻き込んだ
“大催流弾”映画が、あなたの心を濡らします。



おじいさんのやさしさが少女の涙を笑顔に変えた

幸せの絆

きずな

第27回大衆電影百花獎最優秀作品賞 第27回大衆電影百花獎主演女優賞 第23回中国電影金鷄獎新人監督賞
第10回北京大学映画祭優秀兒童俳優賞 第10回平壤國際映画祭映象委員會賞 あいち國際女子映画祭2005出品作品
監督・脚本:ウーラン・ターナ 製作:山西電影製作所 製作總指揮:リー・シュイホー 製作:ティエン・ホイアイ グァン・シンロン
顧問:シェン・ウェイチェン 撮影:チー・レイ 美術:リウ・クワンユー 編集:チョウ・シンシャ 音楽:チャ・ガン
出演:ティエン・チェンレン チャン・イエン ハオ・ヤン ユー・ウェイジェ
2003年作品/中国/89分/35mm/ドルビーSR/日本語字幕:加藤正純 原題:暖春 Warm Spring
提供:新星電影有限公司(香港) 配給:フリーマン・オフィス株式会社

s-kizuna.jp



少女と老人の“絆”が周りの心を動かしていく切なくも温かい“いのち”の物語。

子供に対しての愛情やつながりが薄くなっている現代社会。さまざまな事件や問題が報じられ、殺伐としつつある今、血のつながらない老人と少女を取り巻く世界を通じて、血よりも濃い“絆”が存在することを描いた作品、それが『幸せの絆』である。本作は、親を亡くして一人ぼっちになった7歳の少女、小花が、拾われた老人の家で、老人の息子夫婦に辛い仕打ちを受けながらも、感謝の気持ちを絶やさず、老人との絆を深めていくことで、やがて息子夫婦たちの冷えた心に良心を呼び覚ましてゆく。

『HERO／英雄』をも凌駕し、中国全土で大ヒットを記録！

製作費は200万元(約2,500万円)という低予算にも関わらず、山西省では2003年当時として大ヒットしていた『HERO／英雄』を抜いて興行収入第一位に輝き、作品の噂は瞬く間に各地方大都市へ広まった。そして興行収入は2000万元(約1億5000万円)を突破し、その年の中国国内映画の興行収入第7位を記録する、奇跡のロコミットとなった。中国メディアに“大催涙弾”と称され、中国全土を感動の渦に巻き込んだ人間愛にあふれる本作を手掛けたのは、今回が初監督という内モンゴル出身の女性ウーラン・ターナ。この作品の大ヒットによってテレビ・シリーズ版も手掛けた。また、もっとも重要な少女役を演じたチャン・イェンは、2000人の中からオーディションによって選ばれ、撮影時はわずか8歳という年齢でありながらも堂々たる演技を見せ、中国映画史上最年少で第27回大衆電影百花獎主演女優賞を受賞した。



物語

1980年代の末、中国・山西省の山間にある芍薬村に、孤児で里親の虐待に耐え切れず逃げてきた7歳の少女、小花(チャン・ヤン)が行き倒れていた。貧しい農村で自分たちが生きるのに精一杯な村人たちは、誰も引き取ろうと手をあげなかったが、通りがかった一人のおじいさん(ティエン・チェンレン)が引き取る。おじいさんの優しさに、小花は一生懸命答えようと掃除や農作物を手伝うのだったが、おじいさんが一緒に暮らす一人息子の宝柱(ユー・ウェイジエ)とその妻・香草(ハオ・ヤン)は、自分たちに子供がなかなかできないことから二人に冷たく当たり、香草は小花を追い出そうとする。何度も繰り返される香草の仕打ちにめげず、怯えながらも小花は息子夫婦と仲良くなるようにするのだが…

常に感謝の気持ちを忘れない健気な少女と貧しくとも心を満たす術を知っているおじいさんに心を打たれ涙が止まりませんでした。心の洗濯ができる超感動作です。

小林綾子さん(女優)

「幸せの絆」上映会

◆平成28年 **9月21日(水)** 茨城県立県民文化センター小ホール

◆上映時間/①1回目 午後**2時30分**～ ②2回目 午後**6時00分**～

◆入場料/前売 **¥1,000**(当日¥1,300)

※全席自由席

◆前売券発売所/県民文化センターチケット取扱所

■主催/茨城県日中友好協会・水戸市日中友好協会

TEL029(224)1169 水戸市大町3-4-36

■後援/茨城県、茨城県教育委員会、水戸市、水戸市教育委員会、連合茨城、茨城新聞